



音楽の特別非常勤講師 藤咲真介先生 ～今年度もよろしくお願ひします～

5月30日（水）に、今年度初めての授業をしていただきました。藤咲先生には6年生の音楽授業を年間34時間計画しています。横道さんにとっては、1年の時から毎年来てくださっているの、会えるのを楽しみにしていたようです。

2校時は昨年NHK合唱コンクールで歌った「おぼろ月夜」を題材に、歌うだけでなく、手や足を使ってリズムをとりながら歌うことに挑戦しました。1年生二人も飛び入り参加して、みんなでいっしょに音楽を楽しみました。3拍子のリズムを下半身でとることは難しいと言われました。確かにワルツのテンポは日常的にはあまりないですね。行進や体操などは「1・2」「1・2」、または「1・2・3・4」「5・6・7・8」となります。最初はとまどいながらも少しずつできるようになりました。練習あるのみです。声の出し方や歌う姿勢についても、基本から教えていただきました。タオルを脇に挟むと肺をうまく使えるそうです。肩こり解消にもいいそうです。

3校時は松田聖子さんが歌った「瑠璃色の地球」【昭和61年(1986年)】をプレゼントしてくださいました。曲紹介で藤咲先生がピアノを奏でると、なんと、鳥たちが呼応するかのように鳴き声がたくさん聞こえてきたのです。私にとっては感動の瞬間でした。そのような中、音楽の授業は行われていました。横道さんが先生のピアノに合わせていっしょに歌っている姿は、まるで歌手が作曲家のレッスンを受けているようでした。歌の完成を楽しみにしています。



ひろしま「山の日」県民の集い in 大竹 ～みどりの少年団デビュー～

6月3日（日）に「ひろしま『山の日』県民の集い in 大竹」が、マロンの里で行われました。栗谷小みどりの少年団は昭和53年に結成され、今年で52年目を迎えます。栽培活動や鳥の観察、川の生き物観察など自然とふれあう活動を続けてきました。今年の団員3名は、開会式では開会宣言を高らかに言い、その後のステージ発表では、トップバッターを務めました。栗谷小学校の近くで見ることができるコシアカツバメ、シジュウカラ、トンビ、キジについて、写真パネルを見せながら紹介しました。



最後に3人で「栗谷小みどりの少年団の歌」を歌いました。数年前の振り付けを横道さんは覚えていましたが、1年生の二人は初めてでした。5月のはじめから中野先生の指導の下、ビデオを見ながら練習を重ね、振り付けを覚えることができました。3人で合わせる練習は昼休憩などを利用しました。大勢の前で堂々と発表・演技できた子どもたちは満足そうでした。見事なデビューを飾ることができたと思います。

終了後、主催者よりご褒美をいただきました。今年度初のギャランティー（出演料）はみんなで山分けしました。



親子けん玉教室 ～コミュニケーションのツールとして～

6月5日（火）「(株)砂原夢企画」の砂原宏幸さんをお迎えして、親子けん玉教室を行いました。砂原さんは元小学校教師で、12年前になんと本校（栗谷小）を最後に50代で退職されたそうです。本校には3年間お勤めでした。その後は、けん玉の普及に力を注ぎ、今も「けん玉達人」として、日本だけでなく、世界で活躍されています。

この度は、このようなご縁のある砂原さんに来ていただき、保護者もいっしょに楽しいひと時を過ごすことができました。けん玉は足腰や集中力を鍛えることができます。また、コミュニケーションのツールにもなります。3人の児童と4人の先生の絆がより深まっていけたらいいなと思っています。栗谷小でけん玉ブームを巻き起こしていこうと思います。

